

第1章 調査の目的と方法

第1節 京都SKY大学の沿革と現状

1 沿革

SKY大学は、平成2年6月に財団法人京都SKYセンター設立を機に昭和56年から京都府が主催していた「老人大学 文学・歴史講座」「老人大学 美術・工芸講座」を継承したものである。

- 平成2年9月に通年制の「京都SKY大学」として新しく発足し、知識・技能の習得を図る専門講座(『文学・歴史コース』『健康・福祉コース』『時事・経済コース』)を開設した。また、それら専門講座とは別に「中期課程」及び府内の複数地域において「短期講座」を開設した。
- 平成5年度に至り、「中期課程」を拡充して、専門講座『美術・工芸コース』を開設し、北部地域で実施してきた「短期講座」を通年制の『文化コース』に衣替えし、以後毎年北部4市会場(福知山市、舞鶴市、宮津市、綾部市)を巡回するようになった。
- 平成10年度には、高齢者の健康志向に応えるため、専門講座に『スポーツコース』を新設した。
- 平成12年度には、さらなる生涯学習の意欲や仲間づくりの機会を増やしてほしいとの修了生の強い要望を踏まえ、『文学・歴史専科』及び『スポーツ専科』をコースとして新設した。
- 平成14年度には、より深く学び自己学習につなげることを希望する受講生のために、1つのテーマに絞って学習する少人数講座として『文学ゼミナール』を試行的に開設した。
- 平成15年度に入り、自己の知識や技能の習得だけでなく、大学で学んだことを地域で活かし、受講生自らが創り上げる大学とすることを目的とし、「新・京都SKY大学」と名称を改めた。専門講座では『総合活動Aコース』『スポーツ・レクリエーション活動コース』『文学・歴史活動コース』『総合活動Bコース(北部会場)』としてスタートした。
- 平成17年度には、SKY大学の修了生で組織する「京都SKY大学同窓研修会」の会員を対象とする専門講座『京都見聞コース』を開設した。
- 平成18年度は、『京都見聞コース』と同じく、京都SKY大学同窓研修会会員を対象とする専門講座『工芸体験コース』を開設するとともに、健康生きがいがづくりアドバイザーの有資格者で構成する「健生ネットワーク京都」の主管による専門講座『資格取得準備コース』(健康生きがいがづくりアドバイザー養成講座)を設けた。
- 平成20年度では、新たに環境に特化した内容で構成する専門講座『環境学習活動コース』を開設した。

なお、表1-1は、平成2年度から平成20年度までのSKY大学各コース開設の経緯等を表にしたものである。

表1-1 京都SKY大学各コース開設の経過(平成2年度～平成20年度)

年度	コース名	受講生 (人)	修了生 (人)	主な講座内容
2	文学・歴史、健康・福祉、時事・経済	208	174	・各コース別専門講座
3	上記コースとは別に中期課程・美術講座、短期講座(府内3ヶ所)を開催	199	162	・合同講座、研修旅行
4		224	199	・特別活動、文化祭 等
5	文学・歴史、健康・福祉、時事・経済、美術・工芸、文化(北部)	376	322	・各コース別専門講座
6		372	291	・共通教養講座
7		409	364	京都再発見、今日の問題
8		399	348	・特別行事
9	文学・歴史、健康・福祉・スポーツ、時事・経済、美術・工芸、文化(北部)	401	359	能鑑賞、歌舞伎鑑賞教室、 京都賞受賞記念講演会、
10	文学・歴史、健康・福祉、時事・経済、	437	372	京の名工展見学、SKYふれ
11	美術・工芸、スポーツ、文化(北部)	458	416	あいフェスティバル
12	文学・歴史、健康・福祉、時事・経済、	617	540	・北部会場
13	美術・工芸、スポーツ、文化(北部)	575	533	福知山市(⑤、⑨、⑬年度)
	文学・歴史専科、スポーツ専科			舞鶴市(⑥、⑩、⑭年度)
14	文学・歴史、健康・福祉、時事・経済、美術・工芸、スポーツ、文化(北部)、文学・歴史専科、スポーツ専科、文学ゼミナール	603	570	宮津市(⑦、⑪年度)
				綾部市(⑧、⑫年度)
15	総合活動A、スポ・レク活動、	441	413	・各コース専門講座
16	文学・歴史活動、総合活動B(北部)	410	387	・共通教養講座
17	総合活動A、スポ・レク活動、文学・歴史活動、総合活動B(北部)、京都見聞	386	354	・特別行事(能、歌舞伎、京都賞受賞記念講演会、京の名工展、音楽鑑賞 等)
18	総合活動A、スポ・レク活動、文学・歴史活動、総合活動B(北部)、資格取得準備、	424	393	・北部会場(⑮宮津市、⑯綾部市、⑰福知山市、⑱舞鶴市、⑲京丹後市、⑳福知山市)
19	京都見聞、工芸体験	390	365	
20	環境学習活動、総合活動A、スポ・レク活動、文学・歴史活動、総合活動B(北部)、京都見聞、工芸体験	416	21年7月に確定	・運営協力(京都SKY大学同窓研修会)
		7,745	6,562	※修了生は、⑲までの数値

2 現 状

○開講期間・講義時間

開講期間は9月～翌年7月までの概ね1年間。ただし、北部会場については12月～2月は休講。講義時間は各コースとも13:30～16:00であるが、環境学習活動コースについては、10:00～12:00としている。

○受講生の推移

平成5年度以降はコースを新增設したことにより徐々に増加し、平成12年度、14年度では受講生が600名を超えた。15年度にSKY大学のあり方について大幅な見直しが行われたため、以後は約400人程度で推移している。また、地域別の受講生は京都市内在住者が全体の約7割を占める。

○男女比

男性対女性の比率は、6:4であり、コースによっては7:3になるところもある。他の民間カルチャーでは女性の受講生が圧倒的に多いのが現状である中で、SKY大学は男性の受講生が多いことが特色の一つでもある。

○平均年齢

平成19年度の全コース修了生の平均年齢は70.1歳。京都会場よりも北部会場のほうが3歳程度高い。

○運営

SKY大学事務局とともに京都SKY大学同窓研修会から推薦のあった運営員が当日の司会進行、受講生対応等に携わっている。

また、『京都見聞コース』『工芸体験コース』は、同窓研修会により企画・運営がされている。

○コース委員

各コースとも受講生の中から数名のコース委員を選出、事務局・運営員との連絡調整のほか、自主企画講座や自主活動(現地研修)の企画・運営に当たっている。なお、北部会場のコース委員については、当日の司会進行も担当している。

○修了文集

平成19年度より、SKY大学で学んだことや思い出を綴った修了文集を発行した。

なお、平成20年度の専門講座の内容については、表1-2 に示すとおりである。

表 1-2 新・京都SKY大学の専門科目(平成20年度)

コース名	講 義 テ ー マ
環境学習活動 ①講座日 火曜日午前 ②受講者数 70名	<ul style="list-style-type: none"> ・人類が生き延びるための社会とは ・脱温暖化に向けての国際交流と日本・京都ができること・すべきこと ・京都にあらわれた温暖化の影響 ・移りゆく森の姿～京都盆地における人と森のかかわり～ ・ヨーロッパの環境政策と日本 ・世界の水問題と都市の水循環 ・森林は一日して成らず ・京都モデルフォレストの取組と活動事例 ・市民参加による再生可能エネルギー ・ライフスタイルによる住まいの省エネルギー～高齢者の知恵を活用しよう～ ・環境とライフスタイル①～ごみ処理の現状と減らすための工夫～ ・環境とライフスタイル②～地域での取組～ ・環境にやさしい家づくり～地域産材と塗り壁・太陽熱であたたまる～ ・次世代に残す社会とライフスタイル ・活動事例報告(京都グリーンファンド、八幡市環境市民ネット) ・現地研修③、自主企画講座①、自主活動①
総合活動A ①講座日 火曜日午後 ②受講者数 74名	<ul style="list-style-type: none"> ・おぼえておきたい京の名せりふ ・平安京、京都の歴史を歩く ・京都で目にするのできる彫刻 ・高齢者のための医学①・② ・食生活による生活習慣病の予防 ・戦後日本をどのように考えるか ・国内政治の動向と展望 ・国際政治の動向と展望 ・福祉と学びのまちづくり～集いの場・語らいの時を身近な地域に～ ・犯罪被害者の心理と支援について ・地域デビューのすすめ～あなたの出番を待っている市民活動領域と参加のしかた～ ・地域ボランティアの考え方と実際～地域ボランティアの活動実践例を通して～ ・「ことば 健康法」～話すほどに若がえる～ ・現地研修④、自主活動①、自主企画講座①

<p>スポ・レク活動</p> <p>①講座日 木曜日午後</p> <p>②受講者数 24名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペタンク①・② ・フリーテニス①・② ・ソフトバレーボール①・② ・ターゲット・バードゴルフ①・② ・フィットネス体験①・② ・軽登山①・②・③ ・健康ウォーキング①・② ・体カテスト ・ヨガ体験講座 ・すぐにできるレクリエーション ・自主企画講座①、自主活動①
<p>文学・歴史活動</p> <p>①講座日 火曜日午後</p> <p>②受講者数 105名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京ことばと役割語 ・王朝文学の華『源氏物語』 ・源氏物語「六十帖」 ・『発心集』巻六の説話～鴨長明編集を疑う～ ・『一寸法師』と『小男草子』 ・西鶴本の謎絵～『好色一代男』の挿絵を読む～ ・『メアリー・ポピンズ』で1910年のロンドン探訪 ・よろしおすえ京ことば ・古代日本の国際交流 ・藤原道長とその時代 ・西国観音巡礼の展開 ・秀吉の聚楽第と家康の二条城 ・対馬宗家文書と朝鮮通信使 ・インドの詩人タゴールと近代日本 ・遣唐使と唐の音楽文化 ・おもしろ観光ガイド～趣味・特技から社会貢献へ～ ・文学見学研修①、歴史見学研修① ・自主企画講座①、自主活動①
<p>総合活動B</p> <p>①講座日 金曜日午後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東洋医学からみた健康と病気 ・高齢者の財産管理、遺言の作成について ・おぼえておきたい京の名せりふ ・食生活による生活習慣病の予防 ・国内政治の動向と展望

<p>②受講者数 53名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の動向と展望 ・「ことば 健康法」～話すほどに若がえる～ ・王朝文学の華『源氏物語』 ・源氏物語「六十帖」 ・『発心集』巻六の説話～鴨長明編集を疑う～ ・古代日本の国際交流 ・藤原道長とその時代 ・秀吉の聚楽第と家康の二条城 ・インドの詩人タゴールと近代日本 ・すぐにできるレクリエーション ・環境とライフスタイル～地域での取組～ ・悪質商法や製品事故をみる・しる・つたえる・「暮らしのご用心」 ・PPK (ピンピンコロリ) のススメ ・自主企画講座①、自主活動①
<p>京都見聞</p> <p>①講座日 水曜日午後</p> <p>②受講者数 79名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洛中洛外図について ・京都の歴史、平安京・京都 ・現地研修⑩(聖護院門跡と京菓子工場、青蓮院、相国寺・瑞春院、建仁寺・両足院、泉涌寺、松尾大社、京料理木乃婦、百万遍知恩寺・京大博物館、大覚寺、妙法院門跡、北野天満宮、教王護国寺、実相院門跡、西本願寺、金戒光明寺、バス研修) ・自主企画講座①、自主活動①
<p>工芸体験</p> <p>①講座日 水曜日午後</p> <p>②受講者数 11名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京の伝統工芸について ・現地研修⑬(手びねり、絵付け、蒔絵、和雑貨、拓本、京扇子、くみひも、金箔押し、織り体験、ろうけつ染め、和菓子作り、型染友禅、竹かご) ・現地見学① ・作品展示② ・自主活動③

第2節 問題の所在と調査の目的

1 問題の所在

現在、SKY大学を運営する中で、次のような問題点があると考えている。

(1) 受講生

(単位:人)

年 度	15	16	17	18	19	20
募集人員	400	400	470	520	520	550
受 講 生	441	410	386	424	390	416
充足率(%)	110.3	102.5	82.1	81.5	75.0	75.6

(注) 募集人員の増加は、コースの新設によるものである。

- ・ 募集人員の増加の割には、受講生の増加がみられない。
- ・ SKY大学の存在及びその内容が未だ府民に十分浸透しているとはいえない。
- ・ 新・京都SKY大学の開設後5年を経過し、毎年工夫はしているものの、次第にマンネリ化し、新鮮味が低下している。
- ・ 団塊世代を含む60歳代が少なく、受講生が高齢化してきている。
- ・ 市町村や民間の生涯学習講座が増加し、手軽な短期講座の受講機会が増えてきている中で、広域的な高齢者大学としての特色を十分PRできていないと思われる。

(2) SKY大学の目的とカリキュラム編成

- ・ SKY大学の目的(「仲間づくり」「生きがいづくり」「健康づくり」「リーダーづくり」)にかなった成果が得られているか現状を把握する必要があるが、これまで十分な検証がなされていない。
- ・ 特に、修了後の「社会活動への参加」という視点から現在のSKY大学のカリキュラムの問題点を明らかにし、その方向性や改善点等について点検・検討が必要である。
- ・ SKY大学の目的が達成されるには、自ら行動に移す「きっかけ」となる多彩な取組が必要であるが、全体的に座学中心の授業が多いため、アクティブさ(活動的)に欠け、もう一步踏み出す起動力になりきれしていない。
- ・ 「総合活動コース」は、多様なニーズに応えるというコースの性格上、カリキュラムが総花的になりがちであり、目的がぼやけてしまう傾向にある。

2 調査の目的

今回、次のことを踏まえて調査を行うこととした。

(1)時代のニーズに応えるSKY大学のあり方を検討

成熟した高齢社会では、高齢者は、社会の一員として、積極的に参加し、貢献していくことが求められている。また、そのことが高齢者自身の生きがいとなり、喜びとなるものでなければならない。

SKY大学修了後、スムーズに社会活動に参加し、社会貢献していくことができるようにするためには、SKY大学修了生の現状を把握するとともに、SKY大学で学んだ成果として、何らかの社会活動への参加に結びついているのかどうかの検証を行っておく必要がある。

また、SKY大学の掲げる目的(「仲間づくり」「生きがいづくり」「健康づくり」「リーダーづくり)」について、修了生が修了後の日常生活において、それぞれの程度達成できているのかを点検することにより、今後のSKY大学のコース設定やカリキュラム構成についての方向性を検討し、併せて時代の要請に適合した高齢者大学のあり方についての課題を明らかにする必要がある。

(2)SKY大学修了生の地域活動参加支援システム構築へ向けて

また、SKY大学は、社会活動への「入口」としての役割については、一定果たしてきているが、修了後の社会活動への参加に繋がる「もう一步」を踏み出すための支援策、道筋を提起することが不足している。

現在、京都SKYセンターでは、その大きな事業の柱として、社会活動参加支援のトータルなシステム『ナイスシニア・ネット(※)』を構築しつつあり、平成22年度から本格実施すべく検討を進めている。この観点からも、京都SKYセンターの中心的事業であるSKY大学は、そのシステムの中で果たすべき具体的な役割を明確にする必要がある。

(※)『ナイスシニア・ネット』

京都SKYセンターが実施している各種事業を通じて社会貢献活動に対する関心を誘起するとともに、具体的な活動への参加を希望するシニアに多様な活動の情報をネットワーク化して紹介・提供する仕組み。

具体的には、SKYセンターの基盤事業であるSKY大学を中心に、その他の事業を通じて、社会活動参加のきっかけとなるような仕組みを作り、参加の第一歩を踏み出しかねているシニア層を後押しする活動を展開する。

また、行政機関、NPO等関係機関との連携により地域にあるさまざまなボランティア活動等社会活動の情報を集約、ネットワーク化して、分かりやすい情報として広く提供し、SKYセンターは、コーディネーターとなって社会活動参加の支援を行う。

第3節 調査の方法

今回の調査では、SKY大学の現状を把握し、課題を抽出するため、学識経験者、SKY大学受講経験者等をメンバーとする「新・京都SKY大学修了生地域活動推進調査研究委員会」（構成委員は、別表のとおり。以下「委員会」という。）を設置するとともに、SKY大学修了生の現況とSKY大学への意見・要望を把握するため、アンケート調査を実施することとした。なお、アンケート調査票の作成及びアンケートの集計・分析作業については、京都府立大学（公共政策学部）に委託した。

第1回委員会（平成20年9月24日）では、SKY大学の現状や問題点について議論し、第2回委員会（平成20年10月20日）においては、アンケート調査票の原案について検討、意見交換を行った。

調査項目は、平成15年度から新たにスタートした「新・京都SKY大学」に対する評価や修了後の社会活動参加状況などとし、調査対象は、平成15年度から平成19年度までの修了生のうち、平成20年9月現在において、SKYセンターの会員である647名とした。平成20年11月7日に、この647名に対して、調査票を郵送。11月25日を回答期限とし、無記名による回答をお願いした。

最終的な回収調査票の数は、422通。回収率は65.2%で、一般のアンケート調査よりも高い回収率となり、参考となる貴重な意見が数多く寄せられた。回収したアンケートについては、京都府立大学で集計及び分析を行い、第3回委員会（平成21年1月23日）及び第4回委員会（平成21年2月9日）において、その分析結果に基づき課題と展望について考察を行った。

別表 「新・京都SKY大学修了生地域活動推進調査研究委員会委員」

区 分	氏 名	職 名
学識経験者	築山 崇	京都府立大学公共政策学部教授
	石田正浩	京都府立大学公共政策学部准教授
受講経験者	奥村一成	京都SKY大学同窓研修会会長
	松井 清	京都SKY観光ガイド協会会長
地域活動団体	森川恵子	NPO法人「京都土の塾」副理事長
京都SKYセンター	奥村幸雄	(財)京都SKYセンター常務理事